

監査結果に関する措置状況報告書

令和2年度包括外部監査（市政改革プラン2.0の検証について）

所 管 所 属：建設局

通知を受けた日：令和3年10月12日

監査結果 No.	頁数	指摘等の概要	措置内容又は措置方針等	措置分類	措置日 (予定日)
意見42	145	<p>民間活用による歳出削減効果を公表されたい。</p> <p>下水道事業については、平成30年度及び令和元年度には包括委託による業務の実施状況の点検を実施したとされているが、公表資料からその結果を読み取ることはできない。</p> <p>大阪市としては、更なる民間能力の活用に向けてコンセッション方式の導入を検討しているところではあるが、並行して包括委託による事業の効率化を定量的に把握・公表し、市民監視のもと包括委託方式での更なる効率化を検討するとともに、包括委託方式での課題を洗い出し、コンセッション方式での改善に活かすべく検討を進めるべきである。</p>	<p>下水道事業における民間活用による効率化を図るため、下水道施設の維持管理にかかる包括委託を実施しており、その歳出削減効果については、令和3年2月の市長会見を行い、本市HPで公表を行っている。</p> <p>コンセッション方式導入については、リスク分担や財源確保など大阪市だけでは解決できない課題もあり、解決には相当な時間を要することなどから、現時点において、下水道事業全体の運営を民間事業者だけで実施することができないことが判明したため、民間活用効果を早期に発現できる事業領域において、下水道事業の更なる効率化に向け検討を進めていく。</p>	見解	—
意見43	146	<p>目標の進捗確認に際し、課題や目標の更新など検討状況を適時に公表されたい。</p> <p>早ければ令和元年度からのコンセッション方式導入をめざすこととしていたところ、リスク分担や財源確保など大阪市だけでは解決できない課題もあり、解決には相当な時間を要することなどから、当該時点において、下水道事業全体の運営を民間事業者だけで実施することはできないことが判明した。そのため、下水道事業全体のコンセッション導入は引き続き検討を続けるものの、民間活用効果を早期に実現できる事業領域における事業スキームを検討しているとのことである。進捗確認の際に課題や目標に変更が生じた場合、内容の更新を行い、その具体的な検討状況を適時に公表すべきである。</p>	<p>今後、市政改革プラン3.0の進捗状況の確認の際に課題や目標の変更が生じた場合には、内容の更新、検討状況を適時公表していく。</p>	見解	—